

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 2 月 15 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470101977		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームうぐいすの家		
所在地	〒734-0041 広島市南区黄金山町6番5号 (電話) 082-510-2555		
自己評価作成日	平成30年1月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470101977-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年2月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成12年開設の民家改造型グループホームです。階段や段差はありますが、すべり止めや見守り介助により対応しています。これまでの生活に少しでも近づけるよう、できる事を見つけ生き活きと過ごせるよう、料理や洗濯、掃除などその方に合った方法で一緒に行っています。身体機能の維持や気分転換を兼ねて散歩や買い物、ドライブなどの外出支援を心掛けています。また終の住み家として頂けるよう利用者様ご家族の希望を伺いながら、医師、看護師と連携をとり看取りを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

黄金山の団地内にあり、眺望に恵まれた環境の中、長く培った地域との関係性を大切にしつつ利用者の穏やかな生活を育んでいる。時には近くの由緒ある神社や庭園に出向き、馴染み深い地域に根差した関わりや親交を温めながら交流を重ねている。三食共手作りの食事が出汁や栄養バランスに配慮し温かいものは温かいまま提供することに努め、利用者も下ごしらえ・盛り付け・後片付けを手伝うなど、日常の生活活動や楽しみのひとつとなるよう支援している。近隣の系列事業所と合同行事などで連携し、協力体制を築いている。利用者一人ひとりの意思や能力、人生・人格を尊重し、個々に寄り添った温かみのあるケアを目指し尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	設立時の理念をもとに、管理者と職員で話し合い一年間の目標を立て、日々のケアに取り組んでいる。	法人理念をもとに事業所独自の目標として「思いやりをもち、目配り・気配りを心がけ笑顔で明るく利用者にもやさしく接する」などを定め、職員間で共有している。毎年の互礼会で代表者を交え、振り返りを行い、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩時の挨拶や事業所前の道路の掃除など心掛けている。町内会に加入し、今年度は組長として参加させていただいている。	町内清掃や夏祭りの手伝いなどの町内行事へ職員と共に積極的に参加している。日常的な散歩でのあいさつや様々な季節行事を通じ、地域の人たちとの交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居相談時などに、その時困っていることに対する対応方法などをお話している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行事や利用者の状況、運営について報告している。災害時の避難について意見を見聞き、改めて職員間で話し合いを行った。	隔月開催の当会議では地域代表者・行政関係者などを交え、状況報告及び意見交換がなされている。災害時対策についても地域との協力関係の構築に努め、防災意識を高める話し合いや工夫に取り組んでいる。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業所の2ユニット化に向けて市町担当者と代表者が連絡を取り合っている。生活保護受給者のホームでの様子を面会時にお伝えしている。	日頃から相談や手続きで密に連携し、地域包括支援センター職員の運営推進会議への参加や、研修・勉強会など他事業所との交流を含めた取組みに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての研修を行っている。日中の玄関は施錠せず天気の良い日には解放している。ベッド柵や食事用エプロン、待ってなどの声掛けも身体拘束ととらえ対応している。</p>	<p>法人内外の研修はもとより、日頃から職員間でケース検討も含めた話し合いを行い、身体拘束をしないケアの実践に向け研鑽を積んでいる。スピーチロックを含め、なるべく制約を加えないケアに努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルをもとに研修を行い理解している。言葉や態度、対応のしかたなど日々お互い注意を払いケアを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>マニュアルや研修で学んでいる。必要と思われる場合は管理者や代表者に報告相談し対応している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、重要事項説明書、契約書により説明を行い、理解・納得のうえで署名捺印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に苦情箱を設置し、窓口も明確に掲示している。推進会議に出席して頂き外部者との話す機会を作っている。外出の機会を増やして欲しいとの要望があり、ドライブや散歩の回数を増やした。</p>	<p>主に面会時やイベント時に意見・要望を伺い、集約検討を重ね、より良いケアの在り方や運営に活かしている。毎月の家族への便りには職員手書きによる手紙を添え、日々の暮らしの様子を伝えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り時やミーティング時などいつでも気軽に意見を聞けるようにしている。行事などの企画を各ホームから持ち寄り、検討し実施している。</p>	<p>ミーティング時や日々の流れの中で職員間で話し合い、意見・要望などを運営に反映させている。改善例として、食事の内容に彩りを加えたり、法人のドライバーへの買い出しの依頼案、掃除の時間配分の見直しなどがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>申告書があり、職員は希望や意見を伝えている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。リーダーや役割を持たせやりがいや達成感が得られるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内外研修の機会があり、資格取得のための援助を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>市や協会の研修に参加し、同業者との交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前訪問を行い、本人や家族からお話を伺い、不安や心配がないように説明し見学にも来て頂いている。入居後は関わりを多く持ち、本人のペースを崩さず生活に慣れて頂くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接で家族の困っている事や要望を聞き、入居後も面会時などにホームでの様子を伝え、不安解消に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人と家族よりしっかりお話を聞き、その時に一番必要であるサービスを見極め、検討し他のサービスを提供できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の持っている能力を活かし、一緒に作業を行い一日を過ごしている。楽しい時には一緒に笑い、悲し時には一緒に悲しみ共に生活をしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には自室でゆっくりできるように配慮している。ホームでの様子を伝え、時には相談しながら共に支え、つながりがきれないように努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人の希望に添って自宅に同行したり、馴染みの散髪屋さんに付添出かけている。</p>	<p>男性利用者の中には馴染みの理髪店に出向き、髭そりや整髪をしてもらうなど、懐かしい関係性やつながりを大切にした暮らしの継続がなされている。思い出の場所に出かけ共感できる場面づくりにも努め、日々のケアに組み込んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングの席は相性を考慮し決めている。利用者同士の関係を築けるように職員が間に入り話をし、食事時には一緒にテーブルにつき過ごしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了し退去された後も、希望があれば家族の相談に乗り支援に努めている。死亡退去時、法要や納骨もお手伝いしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中で意向や希望などの把握に努めている。本人から話が聞けない場合には、表情や仕草から思いをくみ取り記録し、職員間で共有しケアに活かしている。	普段のさりげない会話やふれあいを通じ、個々の意向や思いを汲み取り、生活日誌などに記し、アセスメントに繋げている。家族からの聞き取りやライフスタイルなども考慮し、生き生きと暮らせる要素として個別ケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面接で本人や家族や関係者から情報収集を行い記録している。入居後も引き続き情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々のペースに合わせて自室やリビングで過ごして頂いている。日々の生活を共に行い、記録をすることで現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式でアセスメントしている。できる限り今までの生活の維持をめざし、本人や家族と相談し作成している。生きがいや役割づくりとなるような計画作成を心掛けている。</p>	<p>職員が知り得た情報やフェイスシートなどをもとに、利用者・家族・医療関係者の意見を加味しながら介護計画を立案している。個々の方向性を位置づけ、現状に即したプランとなるよう定期的に見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>一方的な記録にならないように言葉や様子を記録している。発熱は赤字で記録しわかりやすくしている。申し送りノートで情報を共有し取り組んでいる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に合わせて本人家族と話し合いを行い、サービスを検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の商店に買い物に出かけたり、回覧板を職員と一緒に送ったりしている。町内会の掃除や行事に参加し交流している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に相談しかかりつけ医を決めている。協力医の往診を定期的なうけ、必要時には受診の付添をしている。緊急時の連絡体制を整え対応している。</p>	<p>内科・外科は毎週訪問診療がある。必要であれば通院同行支援も職員が担い、受診結果などの情報は家族と共有している。感染症予防対策・服薬管理などに留意し、緊急時にも迅速な対応を心がけ、利用者の健康管理に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々のかかわりの中で気づきや体調変化が見られたときは、看護職員に連絡相談している。必要時協力医に連絡し対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には交代で面会に行き洗濯物を届け、病院関係者より経過を伺っている。早期に退院できるよう情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居前に重度化時や看取りについて説明している。状態変化時には家族医師とも話し合い意向の確認をし支援している。</p>	<p>重度化した場合、家族・関係者と話し合い、ニーズに沿った方向性や支援に努めている。最期までその人らしく過ごせるよう医療機関との連携やバックアップ体制を整え、チームケアの充実を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成している。実践対応できるように研修を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。夜間はマニュアルをテーブルに置き確認している。推進会議で地域や包括の方と話し合いを行っている。</p>	<p>定期的に消防署員立ち会いのもと、避難経路や防災備品の点検など確認を行い、非常時に備えている。災害時の協力体制について地域関連組織と活発に意見交換し、迅速な対応や防災意識の向上を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を受け学んでいる。個々の人格を尊重した言葉づかいや態度に気を付けている。	親しみのある関わりの中にも節度を保った接遇に留意し、尊厳を護るケアを念頭に置き支援している。法人内で年一回は合同研修を行い、言葉かけについては利用者一人ひとりに適した言葉遣いにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者の意思決定を大切にし、食べたいもの、飲みたいものなど自己決定できる場面を作り、一緒に考えるなどしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているがその中で、本人のしたい事などの希望を取り入れ支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	普段から今日着る服を選んだり、外出時にはお化粧をしたりおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	カロリー計算された統一献立を使用している。食べられないもの場合は、代替している。食事の準備や盛り付け、片付け等一緒に行っている。誕生日会や行事時には献立を変更し楽しんで頂いている。	出汁の取り方や手作りならではの温かみを活かした食事提供で、個々のリクエストにも応じるほか、食事形態にも配慮している。ひな祭りや敬老会・バースデーなどの記念日には特別メニューで祝い、共に味わい和やかな食事を催している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量は生活日誌に記録し，一人ひとりの状態に合わせた量や形態で提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い，自力困難な方には介助し行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の習慣に添ったトイレ誘導を行っている。排泄状況を生活日誌に記録し，パターンの把握に役立て，トイレ誘導を行っている。</p>	<p>排泄チェック表や生活日誌に記し，パターンやタイミングを見計らってトイレ誘導を行い，自然な排泄を促している。夜間対応としてポータブルトイレを使用したり，介助法で負担をかけないような工夫にも取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表や，生活日誌に記録し常に排便状態の把握に努めている。散歩や運動を心掛け，起床時に牛乳を飲用して頂き便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。菖蒲湯や柚子湯などで季節を感じて頂いている。</p>	<p>概ね週2～3回の入浴でなるべく要望に沿った支援を行っている。時にはシャワー浴・足浴・清拭などでリラックス効果を取り入れつつ清潔や衛生面に配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や習慣に合わせて昼寝の時 間をとり、休息して頂いている。 夜間の安眠につながるように日 中は、散歩などの活動を心掛け ている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>お薬手帳や処方時の説明書を全 職員が確認できるようにしてい る。臨時薬がでたときには、申 し送りノートへ記入し全職員が 確認しサインをしている。服薬 後は症状の変化を注意し観察し ている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>料理が得意な方には一緒に料理 をしたり、野菜の下ごしらえを するなどしている。洗濯物たた みや天風録を書き写すなど、 個々に合った役割を持っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩やドライ ブに出かけている。家族と協力 しながら外食や買い物に出かけ て頂いている。</p>	<p>日常的な散歩に加え、系列事業 所と合同で花見に出かけたりド ライブで宇品や呉方面へ海を見 に行くなど、普段行けないよう なところへも希望に沿いなが ら出来る限りの外出支援を行っ ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>家族よりお金を預かり出納帳を 作っている。外出時には買い物 をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人が電話を希望されるときや家族からかかってきた場合など、電話の子機を使用し居室でゆっくりお話ししている。手紙は代わりに投函している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地良く過ごせるように空調に気を付け、無駄な電気や誰も見ていないテレビは消している。季節を感じられるように花や壁画を飾っている。</p>	<p>民家改造型の家庭的な造りで、段差も生活リハビリとして活用し自然な暮らし方につなげている。リビングには利用者が書いた習字や季節感のある手作り作品・花などを飾り、ゆっくり寛げるようソファを設置している。日中はほとんどリビングで過ごし、体操やレクを職員と一緒に楽しむスペースとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファを2つ置き思い思いの場所でくつろいでいただいている。玄関先にも椅子を置き外を眺めることが出来たり、気分を変えたりして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には本人の使い慣れた家具や思い出の写真や仏壇を持ち込んで頂き、居心地よく安心できる居場所づくりを心掛けている。</p>	<p>各居室は畳敷きやフローリングの設えで、誕生日祝いの寄せ書き色紙を飾るなど各々に合わせたレイアウトの中、思い出の品々や調度品を持ち込み個性豊かに落ち着いて過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各部屋はプレートをかけわかりやすく表示している。トイレや浴室には手すりをつけ安全に移動できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームうぐいすの家

作成日 平成30年4月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の強化	地域との相互協力ができる	運営推進会議で話し合う	1年
			災害時の安全な避難ができる	水害・地震時の非難訓練を強化する	1年
2	4	運営推進会議の出席者に変化がない	運営推進会議の出席者を多様化する	出入りのお店屋さん、町内会、生活課、近隣の方々に意見や思いを聴かせて頂く	1年
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。